

| | | | | | |
|-----------|---|--------------|--|--|--|
| 科 目 | 真宗学概説 | 開講時期 履修方法 | 2年前期 必修、専門科目 | | |
| 担当者 | 中島 航・青木 玲 | 授業形態 単位数 | 講義 2単位 | | |
| 授業概要 | 私たちは自分の思いに先立って願われている存在である。そのことを『大無量寿經』本願文（第十二願から第十七願）から学ぶ。講義・学習・攻究を内容とする。 本授業は仏教学科の学修成果(1)に対応する。 | | | | |
| 到達目標 | 本願文の学習を通して、すべての科目の基本軸として、出遇うべき仏教の精神を確認することができる。 | | | | |
| 学修成果の評価基準 | 講義の準備、講義中、また学習・攻究において積極的な学びができているかを確認し評価する。 学期末に学びの振り返りとしてレポート試験を実施する。 | | | | |
| | 授業計画(授業内容) | | | | |
| | | | | | |
| 1. | ガイダンス 授業の進め方について | | 授業時間外学習 予習・復習 予習：「シラバス」を読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間） | | |
| 2. | 第一願から第十一願を振り返って 講義 | | | | |
| 3. | 第十二願 光明無量の願 講義 | | 予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間） | | |
| 4. | 第一願から第十一願を振り返って 学習・攻究 | | | | |
| 5. | 第十二願 光明無量の願 学習・攻究 | | 予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間） | | |
| 6. | 第十三願 寿命無量の願 講義 | | | | |
| 7. | 第十三願 寿命無量の願 学習・攻究 | | 予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間） | | |
| 8. | 第十四願 声聞無数の願 講義 | | | | |
| 9. | 第十四願 声聞無数の願 学習・攻究 | | 予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間） | | |
| 10. | 第十五願 善属長寿の願 講義 | | | | |
| 11. | 第十五願 善属長寿の願 学習・攻究 | | 予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間） | | |
| 12. | 第十六願 離譏嫌名の願 講義 | | | | |
| 13. | 第十六願 離譏嫌名の願 学習・攻究 | | 予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間） | | |
| 14. | 第十七願 諸仏称名の願 講義 | | | | |
| 15. | 第十七願 諸仏称名の願 学習・攻究 | | 予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間） | | |
| 教科書 | 『本願文』（大阪教区伝研の会）、『真宗聖教全書一』、『真宗聖典』 | | | | |
| 参考書 | 『新漢語林』、『岩波仏教辞典』 | | | | |
| 学修成果の評価方法 | 受講態度（50%）、授業内発表（20%）、定期試験（30%） | | | | |
| 特記すべき事項 | | | | | |
| 質問・相談等の受付 | | | | | |

| | | | |
|-----------|--|--------------|--|
| 科 目 | 真宗学概説 | 開講時期 履修方法 | 2年後期 必修、専門科目 |
| 担当者 | 中島 航・青木 玲 | 授業形態 単位数 | 講義 2単位 |
| 授業概要 | 私たちは自分の思いに先立って願われている存在である。そのことを『大無量寿經』本願文（第十七願から第二十二願）から学ぶ。講義・学習・攻究を内容とする。 本授業は仏教学科の学修成果(1)に対応する。 | | |
| 到達目標 | 本願文の学習を通して、すべての科目の基本軸として、出遇うべき仏教の精神を確認することができる。 | | |
| 学修成果の評価基準 | 講義の準備、講義中、また学習・攻究において積極的な学びができているかを確認し評価する。 学期末に学びの振り返りとしてレポート試験を実施する。 | | |
| | 授 業 計 画 (授 業 内 容) | | |
| | | | |
| 1 . | オリエンテーション | | 授業時間外学習 予習・復習 予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間） |
| 2 . | 第十七願 諸仏称名の願 | 講義 | |
| 3 . | 第十七願 諸仏称名の願 | 学習・攻究 | 予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間） |
| 4 . | 第十八願 至心信楽の願 | 講義 | 予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間） |
| 5 . | 第十八願 至心信楽の願 | 学習・攻究 | 予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間） |
| 6 . | 第十八願 至心信楽の願 | 講義 | 予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間） |
| 7 . | 第十九願 至心発願の願 | 講義 | 予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間） |
| 8 . | 第十八願 至心信楽の願 | 学習・攻究 | 予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間） |
| 9 . | 第二十願 至心回向の願 | 講義 | 予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間） |
| 10 . | 第十九願 至心発願の願 | 学習・攻究 | 予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間） |
| 11 . | 第二十願 至心回向の願 | 学習・攻究 | 予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間） |
| 12 . | 第二十一願 具三十二相の願 | 講義 | 予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間） |
| 13 . | 第二十一願 具三十二相の願 | 学習・攻究 | 予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間） |
| 14 . | 第二十二願 還相回向の願 | 講義 | 予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間） |
| 15 . | 第二十二願 還相回向の願 | 学習・攻究 | 予習：テキストを読む（2時間） 復習：授業の振り返り、疑問を確認する（2時間） |
| 教科書 | 『本願文』（大阪教区伝研の会）、『真宗聖教全書一』、『真宗聖典』 | | |
| 参考書 | 『新漢語林』、『岩波仏教辞典』 | | |
| 学修成果の評価方法 | 受講態度（50%）、授業内発表（20%）、定期試験（30%） | | |
| 特記すべき事項 | | | |
| 質問・相談等の受付 | | | |

| | | | | | |
|-----------|---|---|-----------------|--|--|
| 科 目 | 教行信証概説 | 開講時期 履修方法 | 2年前期 必修、専門科目 | | |
| 担当者 | 青木 玲 | 授業形態 単位数 | 講義 2単位 | | |
| 授業概要 | 親鸞の主著『顕淨土真実教行証文類』（『教行信証』）を読むことを通して、親鸞が明らかにした仏道を学ぶ。前期は、「総序」を読んでいく。本授業は仏教学科の学修成果(1)に対応する。 | | | | |
| 到達目標 | 『教行信証』「総序」の内容を理解することができる。 | | | | |
| 学修成果の評価基準 | 到達目標に達しているかを確認するために、到達目標確認試験を行い評価する。 | | | | |
| | 授業計画(授業内容) | | | | |
| | | | | | |
| 1. | 授業概要 | 授業時間外学習 予習・復習 | | | |
| 2. | 『教行信証』の概要 | 予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間） | | | |
| 3. | 『教行信証』の概要 | 予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間） | | | |
| 4. | 「総序」の構成 | 予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間） | | | |
| 5. | 「竊以」と「謹案」 | 予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間） | | | |
| 6. | 難思の弘誓と無碍の光明 | 予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間） | | | |
| 7. | 難思の弘誓と無碍の光明 | 予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間） | | | |
| 8. | 『観無量寿経』序分 | 予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間） | | | |
| 9. | 『観無量寿経』序分 | 予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間） | | | |
| 10. | 逆・誇・闡提を恵まんと欲す | 予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間） | | | |
| 11. | 円融至徳の嘉号と難信金剛の信楽 | 予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間） | | | |
| 12. | 円融至徳の嘉号と難信金剛の信楽 | 予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間） | | | |
| 13. | 円融至徳の嘉号と難信金剛の信楽 | 予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間） | | | |
| 14. | 到達目標確認試験 | 予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間） | | | |
| 15. | 前期のまとめ | 予習：「総序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間） | | | |
| 教科書 | 『真宗聖典』 | | | | |
| 参考書 | | | | | |
| 学修成果の評価方法 | 受講態度（50%）、到達目標確認試験（50%） | | | | |
| 特記すべき事項 | | | | | |
| 質問・相談等の受付 | | | | | |

| | | | | | |
|-----------|--|---|------------------|--|--|
| 科 目 | 教行信証概説 | 開講時期 履修方法 | 2年後期 必修、専門科目 | | |
| 担当者 | 青木 玲 | 授業形態 単位数 | 講義 2単位 | | |
| 授業概要 | 親鸞の主著『顕淨土真実教行証文類』（『教行信証』）を読むことを通して、親鸞が明らかにした仏道を学ぶ。後期は、「別序」と「後序」を読んでいく。 本授業は仏教学科の学修成果(1)に対応する。 | | | | |
| 到達目標 | 『教行信証』「別序」「後序」の内容を理解することができる。 | | | | |
| 学修成果の評価基準 | 到達目標に達しているかを確認するために、到達目標確認試験を行い評価する。 | | | | |
| | 授業計画(授業内容) | | 授業時間外学習 予習・復習 | | |
| 1. | 「別序」の構成 | 予習：「別序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間） | | | |
| 2. | 「如來選択の願心」と「大聖矜哀の善巧」 | 予習：「別序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間） | | | |
| 3. | 「如來選択の願心」と「大聖矜哀の善巧」 | 予習：「別序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間） | | | |
| 4. | 沈迷の二機 | 予習：「別序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間） | | | |
| 5. | 「愚禿釈親鸞」の名のり | 予習：「別序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間） | | | |
| 6. | 且く疑問を至して、遂に明証を出だす | 予習：「別序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間） | | | |
| 7. | 且く疑問を至して、遂に明証を出だす | 予習：「別序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間） | | | |
| 8. | 毀謗を生ずること莫かれ | 予習：「別序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間） | | | |
| 9. | 「後序」の構成 | 予習：「後序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間） | | | |
| 10. | 承元の法難 | 予習：「後序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間） | | | |
| 11. | 承元の法難 | 予習：「後序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間） | | | |
| 12. | 雜行を棄てて本願に帰す | 予習：「後序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間） | | | |
| 13. | 雜行を棄てて本願に帰す | 予習：「後序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間） | | | |
| 14. | 到達目標確認試験 | 予習：「後序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間） | | | |
| 15. | 後期のまとめ | 予習：「後序」を読む（2時間） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（2時間） | | | |
| 教科書 | 『真宗聖典』 | | | | |
| 参考書 | | | | | |
| 学修成果の評価方法 | 受講態度（50%）、到達目標確認試験（50%） | | | | |
| 特記すべき事項 | | | | | |
| 質問・相談等の受付 | | | | | |

| | | | | | |
|-----------|---|---------------------------------------|------------------|--|--|
| 科 目 | 真宗学 | 開講時期 履修方法 | 2年前期 選択、専門科目 | | |
| 担当者 | 安武智丸 | 授業形態 単位数 | 講義 2単位 | | |
| 授業概要 | インド・中国・日本三国の七祖は、それぞれの時代・社会が提起する人間の課題をもって釈尊の経説の真意を尋ね、その課題に応える道が本願念佛の教えであることを身をもって領かれた。しかも七祖はそれぞれ「前を訪ね、後を導く」ことで呼応し、真宗の伝統を培われた。その七祖のうち「正信偈」によって龍樹・天親・曇鸞三師が明らかにした仏道を学ぶ。本授業は仏教学科の学修成果(1)に対応する。 | | | | |
| 到達目標 | 大乗佛教の課題と展開および基礎概念を把握した上で、宗祖親鸞聖人の佛教史観を理解することができる。 | | | | |
| 学修成果の評価基準 | 到達目標の達成度を測るため、定期試験を実施し、6割以上の正答を求める。 | | | | |
| | 授業計画(授業内容) | | 授業時間外学習 予習・復習 | | |
| 1. | ガイダンス 大乗佛教の興隆と課題 | 予習：『大乗の仏道』を読む(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間) | | | |
| 2. | 本願名号のあゆみ 一よきひとのあおせ一 | 予習：『浄土の真宗』を読む(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間) | | | |
| 3. | 仏者の伝統 一七祖を貫くもの一 | 予習：『浄土の真宗』を読む(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間) | | | |
| 4. | 龍樹菩薩 龍樹の生きた時代とその学び | 予習：『浄土の真宗』を読む(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間) | | | |
| 5. | 龍樹菩薩 釈尊を受け継ぐもの 一有無の見を破る一 | 予習：『浄土の真宗』を読む(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間) | | | |
| 6. | 龍樹菩薩 易行道を開く 一菩薩道の課題一 | 予習：『浄土の真宗』を読む(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間) | | | |
| 7. | 龍樹菩薩 必定に入る 一現生不退 即得往生一 | 予習：『浄土の真宗』を読む(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間) | | | |
| 8. | 天親菩薩 天親の生きた時代とその学び | 予習：『浄土の真宗』を読む(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間) | | | |
| 9. | 天親菩薩 浄土を明かす 一願生浄土一 | 予習：『浄土の真宗』を読む(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間) | | | |
| 10. | 天親菩薩 空過を超える 一本願力に遇う一 | 予習：『浄土の真宗』を読む(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間) | | | |
| 11. | 天親菩薩 成仏の門 一五念門一 | 予習：『浄土の真宗』を読む(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間) | | | |
| 12. | 曇鸞大師 曙鸞の生きた時代とその学び | 予習：『浄土の真宗』を読む(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間) | | | |
| 13. | 曇鸞大師 仙経を焼く 一五濁の世 無仏の時一 | 予習：『浄土の真宗』を読む(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間) | | | |
| 14. | 曇鸞大師 回向の仏道 一他力回向一 | 予習：『浄土の真宗』を読む(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間) | | | |
| 15. | 曇鸞大師 如実なる行 一凡夫の仏道一 | 予習：『浄土の真宗』を読む(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間) | | | |
| 教科書 | 『真宗聖典』、『真宗聖教全書一』、『大乗の仏道』、『浄土の真宗』、『正信偈』(東本願寺出版) | | | | |
| 参考書 | 『岩波仏教辞典』 | | | | |
| 学修成果の評価方法 | 受講態度(30%)、授業内課題(10%)、定期試験(60%) | | | | |
| 特記すべき事項 | | | | | |
| 質問・相談等の受付 | 授業後、個別に相談があれば受け付ける。 | | | | |

| | | | |
|-----------|---|--------------|---|
| 科 目 | 真宗学 | 開講時期 履修方法 | 2年後期 選択、専門科目 |
| 担当者 | 安武智丸 | 授業形態 単位数 | 講義 2単位 |
| 授業概要 | 親鸞聖人は、七祖をその役割の上から論家と釈家に分けています。論家とは龍樹・天親・曇鸞の上三祖、釈家とは道綽・善導・源信・源空の下四祖をいう。特に下四祖は、「末法五濁」という時代社会と、そこに生きる「凡夫」という人間存在の課題を釈尊の教説にたずね、その課題に応える道が本願念佛の教えであることを身をもって頷いていかれた。その一端を「正信偈」を通して学んでいく。 本授業は仏教学科の学修成果(1)に対応する。 | | |
| 到達目標 | '正信偈'道綽章・善導章・源信章・源空章の内容を理解することできる。 平易な漢文を訓読することができる。 道綽・善導・源信・源空の伝記と思想の概要を理解することができる。 | | |
| 学修成果の評価基準 | 到達目標の達成度を測るため、定期試験を実施し、6割以上の正答を求める。 | | |
| | 授業計画(授業内容) | | 授業時間外学習 予習・復習 |
| 1. | 道綽禪師 聖道門と淨土門 「道綽決聖道難証 唯明淨土可通入」 | | 予習：「正信偈」道綽章を読んでおく(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間) |
| 2. | 道綽禪師 他力の念仏 「万善自力貶勤修 円満徳号勸専称」 | | 予習：「正信偈」道綽章を読んでおく(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間) |
| 3. | 道綽禪師 三不三信の教え 「三不三信誨慰勵 像末法滅同悲引」 | | 予習：「正信偈」道綽章を読んでおく(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間) |
| 4. | 道綽禪師 誓願に遇うということ 「一生造惡值弘誓 至安養界証妙果」 | | 予習：「正信偈」道綽章を読んでおく(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間) |
| 5. | 善導大師 独り仏の正意を明かす 「善導独明仏正意」 | | 予習：「正信偈」善導章を読んでおく(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間) |
| 6. | 善導大師 悲しい凡夫を哀れむ 光明と名号 「矜哀定散与逆惡 光明名号顕因縁」 | | 予習：「正信偈」善導章を読んでおく(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間) |
| 7. | 善導大師 金剛の信心 「開入本願大智海 行者正受金剛心」 | | 予習：「正信偈」善導章を読んでおく(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間) |
| 8. | 善導大師 慶喜の一念 「慶喜一念相応後 与韋提等獲三忍 即証法性之常樂」 | | 予習：「正信偈」善導章を読んでおく(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間) |
| 9. | 源信僧都 偏に安養に帰す 「源信広開一代教 偏帰安養勸一切」 | | 予習：「正信偈」源信章を読んでおく(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間) |
| 10. | 源信僧都 報土と化土 「專雜執心判浅深 報化二土正弁立」 | | 予習：「正信偈」源信章を読んでおく(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間) |
| 11. | 源信僧都 極重の悪人 「極重悪人唯称仏 我亦在彼攝取中 煩惱障眼雖不見 大悲無倦常照我」 | | 予習：「正信偈」源信章を読んでおく(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間) |
| 12. | 源空上人 善惡の凡夫人 「本師源空明仏教 憐愍善惡凡夫人」 | | 予習：「正信偈」源空章を読んでおく(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間) |
| 13. | 源空上人 真宗 選択本願 「真宗教証興片州 選択本願弘惡世」 | | 予習：「正信偈」源空章を読んでおく(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間) |
| 14. | 源空上人 疑いの心 「還來生死輪転家 決以疑情為所止」 | | 予習：「正信偈」源空章を読んでおく(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間) |
| 15. | 源空上人 信する心 「速入寂靜無為樂 必以信心為能入」 まとめ 「弘經大士宗師等 涅槃無邊極濁惡 道俗時衆共同心 唯可信斯高僧説」 | | 予習：「正信偈」源空章を読んでおく(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間) |
| 教科書 | 『真宗聖典』、『真宗聖教全書一』、『大乗の仏道』、『浄土の真宗』、『正信偈』(東本願寺出版) | | |
| 参考書 | 『岩波仏教辞典』、『新漢語林』 | | |
| 学修成果の評価方法 | 受講態度(30%)、授業内課題(10%)、定期試験(60%) | | |
| 特記すべき事項 | | | |
| 質問・相談等の受付 | 授業後、個別に相談があれば受け付ける。 | | |

| | | | | | |
|-----------|--|---|-----------------|--|--|
| 科 目 | 真宗学 | 開講時期 履修方法 | 2年後期 選択、専門科目 | | |
| 担当者 | 吉元信暁 | 授業形態 単位数 | 講義 2単位 | | |
| 授業概要 | 親鸞聖人が制作された「和讃」のなかから、本学の御命日勤行でも読まれる「弥陀成仏のこのかたは」からはじまる和讃六首と、報恩講で読まれる「弥陀大悲の誓願を」からはじまる和讃六首をノートを作りながら読み、その内容を学んでいく。本授業は仏教学科の学修成果(1)に主に対応する。また、学修成果(3)(4)にも対応する。 | | | | |
| 到達目標 | <p>「和讃」とは何かを理解する。 古語辞典や仏教辞典で経典のことばを調べ、意味を取ることができる。 発表用のレジュメを作成し、発表し、自らの課題を発見することができる。 発表に基づいてまわりと議論し、自らの課題を深めていくことができる。</p> | | | | |
| 学修成果の評価基準 | <p>「和讃」とは何かの理解の達成度を測るために、毎回の振り返りを実施して評価する。 授業内における積極的な発表・議論を評価する。</p> | | | | |
| | 授業計画(授業内容) | | | | |
| | 授業時間外学習 | | | | |
| | 予習・復習 | | | | |
| 1. | ガイダンス・授業概要の確認 | 予習：「シラバス」を読む(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間) | | | |
| 2. | 和讃とは何か | 予習：『親鸞和讃集』を読む(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間) | | | |
| 3. | 和讃とは何か　・「和讃とは何か」についての小テスト | 予習：『親鸞和讃集』を読む(2時間) 復習：授業を振り返る(2時間) | | | |
| 4. | 浄土和讃「弥陀成仏のこのかたは」 | 予習：教科書を読んでおく(2時間) 復習：ノートを作成する(2時間) | | | |
| 5. | 浄土和讃「智慧の光明はかりなし」 | 予習：教科書を読んでおく(2時間) 復習：ノートを作成する(2時間) | | | |
| 6. | 浄土和讃「解脱の光輪きわもなし」・ここまでと和讃についての小テスト | 予習：教科書を読んでおく(2時間) 復習：ノートを作成する(2時間) | | | |
| 7. | 浄土和讃「光雲無碍如虚空」 | 予習：教科書を読んでおく(2時間) 復習：ノートを作成する(2時間) | | | |
| 8. | 浄土和讃「清淨光明ならびなし」 | 予習：教科書を読んでおく(2時間) 復習：ノートを作成する(2時間) | | | |
| 9. | 浄土和讃「仏光照曜最第一」・ここまでと和讃についての小テスト | 予習：教科書を読んでおく(2時間) 復習：ノートを作成する(2時間) | | | |
| 10. | 正像末和讃「弥陀大悲の誓願を」・「聖道門のひとはみな」 | 予習：教科書を読んでおく(2時間) 復習：ノートを作成する(2時間) | | | |
| 11. | 正像末和讃「釈迦の教法ましませど」・「三朝浄土の大師等」 | 予習：教科書を読んでおく(2時間) 復習：ノートを作成する(2時間) | | | |
| 12. | 正像末和讃「他力の信心うるひとを」・「如来大悲の恩徳は」・ここまでと和讃についての小テスト | 予習：教科書を読んでおく(2時間) 復習：ノートを作成する(2時間) | | | |
| 13. | これまでの学習内容の振り返り(発表・議論) | 予習：教科書を読んでおく(2時間) 復習：ノートを振り返り整理する(2時間) | | | |
| 14. | これまでの学習内容の振り返り(発表・議論) | 予習：教科書を読んでおく(2時間) 復習：ノートを振り返り整理する(2時間) | | | |
| 15. | これまでの学習内容の振り返り(発表・議論) | 予習：教科書を読んでおく(2時間) 復習：ノートを振り返り整理する(2時間) | | | |
| 教科書 | 『真宗聖典』、『真宗聖教全書一』、『岩波仏教辞典』、『新漢語林』、『古語林』、配布テキスト、『真宗大谷派勤行集』(赤本) | | | | |
| 参考書 | 『親鸞和讃集』 | | | | |
| 学修成果の評価方法 | 毎回の振り返り(30%)、小テスト(40%)、授業内発表(30%) | | | | |
| 特記すべき事項 | 授業内でClassroomを使います。事務室でiPadを借りるか、自分のスマートフォンを用意してください。 | | | | |
| 質問・相談等の受付 | 授業後、研究室、九州大谷Online等、いずれの方法も可。 | | | | |

| | | | | | |
|-----------|---|---|------------------|--|--|
| 科 目 | 真宗聖教講読 | 開講時期 履修方法 | 2年前期 選択、専門科目 | | |
| 担当者 | 青木 玲 | 授業形態 単位数 | 演習 1単位 | | |
| 授業概要 | 『歎異抄』を通して、親鸞聖人が明らかにした仏道を学ぶ。各条の担当を決めて発表する。本授業は仏教学科の学修成果(5)に対応する。 | | | | |
| 到達目標 | 発表・質疑応答を通して、『歎異抄』の内容を理解することができる。 | | | | |
| 学修成果の評価基準 | 授業内での発表を「授業内発表」の評価とする。 | | | | |
| | 授業計画(授業内容) | | 授業時間外学習 予習・復習 | | |
| 1. | 授業概要 | 予習：「シラバス」を読む(30分) 復習：授業概要の内容を振り返る(30分) | | | |
| 2. | 『歎異抄』前序の発表・質疑応答 | 予習：テキストを読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 3. | 『歎異抄』前序の発表・質疑応答 | 予習：テキストを読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 4. | 『歎異抄』第1条の発表・質疑応答 | 予習：テキストを読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 5. | 『歎異抄』第1条の発表・質疑応答 | 予習：テキストを読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 6. | 『歎異抄』第2条の発表・質疑応答 | 予習：テキストを読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 7. | 『歎異抄』第2条の発表・質疑応答 | 予習：テキストを読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 8. | 『歎異抄』第3条の発表・質疑応答 | 予習：テキストを読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 9. | 『歎異抄』第3条の発表・質疑応答 | 予習：テキストを読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 10. | 『歎異抄』第4条の発表・質疑応答 | 予習：テキストを読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 11. | 『歎異抄』第4条の発表・質疑応答 | 予習：テキストを読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 12. | 『歎異抄』第5条の発表・質疑応答 | 予習：テキストを読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 13. | 『歎異抄』第5条の発表・質疑応答 | 予習：テキストを読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 14. | 『歎異抄』第6条の発表・質疑応答 | 予習：テキストを読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 15. | 『歎異抄』第6条の発表・質疑応答 | 予習：テキストを読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 教科書 | 『真宗聖典』、『歎異抄』(東本願寺出版)、『古語林』、『新漢語林』、『岩波仏教辞典』 | | | | |
| 参考書 | 三明智彰『歎異抄講義(上)』(法藏館) | | | | |
| 学修成果の評価方法 | 受講態度(50%)、授業内発表(50%) | | | | |
| 特記すべき事項 | | | | | |
| 質問・相談等の受付 | | | | | |

| | | | | | |
|-----------|---|---|------------------|--|--|
| 科 目 | 真宗聖教講読 | 開講時期 履修方法 | 2年後期 選択、専門科目 | | |
| 担当者 | 青木 玲 | 授業形態 単位数 | 演習 1単位 | | |
| 授業概要 | 『歎異抄』を通して、親鸞聖人が明らかにした仏道を学ぶ。各条の担当を決めて発表する。本授業は仏教学科の学修成果(5)に対応する。 | | | | |
| 到達目標 | 発表・質疑応答を通して、『歎異抄』の内容を理解することができる。 | | | | |
| 学修成果の評価基準 | 授業内での発表を「授業内発表」の評価とする。 | | | | |
| | 授業計画(授業内容) | | 授業時間外学習 予習・復習 | | |
| 1. | 「是旃陀羅」の学び | 予習：テキストを読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 2. | 『歎異抄』第7条の発表・質疑応答 | 予習：テキストを読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 3. | 『歎異抄』第7条の発表・質疑応答 | 予習：テキストを読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 4. | 『歎異抄』第8条の発表・質疑応答 | 予習：テキストを読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 5. | 『歎異抄』第8条の発表・質疑応答 | 予習：テキストを読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 6. | 『歎異抄』第9条の発表・質疑応答 | 予習：テキストを読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 7. | 『歎異抄』第9条の発表・質疑応答 | 予習：テキストを読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 8. | 『歎異抄』第10条の発表・質疑応答 | 予習：テキストを読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 9. | 『歎異抄』第10条の発表・質疑応答 | 予習：テキストを読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 10. | 『歎異抄』第11条の発表・質疑応答 | 予習：テキストを読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 11. | 『歎異抄』第11条の発表・質疑応答 | 予習：テキストを読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 12. | 『歎異抄』第12条の発表・質疑応答 | 予習：テキストを読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 13. | 『歎異抄』第12条の発表・質疑応答 | 予習：テキストを読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 14. | 『歎異抄』第13条の発表・質疑応答 | 予習：テキストを読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 15. | 『歎異抄』第13条の発表・質疑応答 | 予習：テキストを読む(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 教科書 | 『真宗聖典』、『歎異抄』(東本願寺出版)、『古語林』、『新漢語林』、『岩波仏教辞典』 | | | | |
| 参考書 | 三明智彰『歎異抄講義(上)』(法藏館) | | | | |
| 学修成果の評価方法 | 受講態度(50%)、授業内発表(50%) | | | | |
| 特記すべき事項 | | | | | |
| 質問・相談等の受付 | | | | | |

| | | | | | |
|-----------|---|---|-----------------|--|--|
| 科 目 | 仏典講読 | 開講時期 履修方法 | 2年前期 選択、専門科目 | | |
| 担当者 | 吉元信暉 | 授業形態 単位数 | 演習 1単位 | | |
| 授業概要 | 親鸞聖人は、『仏説無量寿経』、『仏説觀無量寿経』、『仏説阿弥陀経』を浄土三部経として大切にされた。本科目では、その中の『仏説阿弥陀経』を読んでいく。 本授業は仏教学科の学修成果(3)に主に対応する。また、学修成果(1)(4)にも対応する。 | | | | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・『阿弥陀経』とは何かを理解する。 ・『阿弥陀経』(漢文)を声に出して読むことができる。 ・漢和辞典や仏教辞典で経典のことばを調べ、意味を取ることができる。 ・発表用のレジュメを作成し、発表し、自らの課題を発見することができる。 ・発表に基づいてまわりと議論し、自らの課題を深めていくことができる。 | | | | |
| 学修成果の評価基準 | 『阿弥陀経』とは何かの理解の達成度を測るために、毎回の振り返りを実施して評価する。 授業内における積極的な発表・議論を評価する。 | | | | |
| | 授業計画(授業内容) | | | | |
| | | | | | |
| 1. | ガイダンス・授業概要の確認 | 授業時間外学習 予習・復習 | | | |
| 2. | 『阿弥陀経』とは何か | 予習：『真宗聖教全書一』を読む(30分) 復習：授業を振り返る(30分) | | | |
| 3. | 『阿弥陀経』とは何か 「『阿弥陀経』とは何か」についての発表・議論 | 予習：『真宗聖教全書一』を読む(30分) 復習：授業を振り返る(30分) | | | |
| 4. | 序分 | 予習：ノートを作成する(30分) 復習：授業を振り返る(30分) | | | |
| 5. | 正宗分(1)讃極楽依正 | 予習：ノートを作成する(30分) 復習：授業を振り返る(30分) | | | |
| 6. | 正宗分(1)讃極楽依正 | 予習：ノートを作成する(30分) 復習：授業を振り返る(30分) | | | |
| 7. | 正宗分(1)讃極楽依正 | 予習：ノートを作成する(30分) 復習：授業を振り返る(30分) | | | |
| 8. | 序分および正宗分の讃極楽依正についての発表・議論 | 予習：ノートを作成する(30分) 復習：授業を振り返る(30分) | | | |
| 9. | 正宗分(2)勸念佛往生 | 予習：ノートを作成する(30分) 復習：授業を振り返る(30分) | | | |
| 10. | 正宗分(2)勸念佛往生 | 予習：ノートを作成する(30分) 復習：授業を振り返る(30分) | | | |
| 11. | 正宗分(2)勸念佛往生 | 予習：ノートを作成する(30分) 復習：授業を振り返る(30分) | | | |
| 12. | 流通分 正宗分の勸念佛往生についての発表・議論 | 予習：ノートを作成する(30分) 復習：授業を振り返る(30分) | | | |
| 13. | これまでの学習内容の振り返り(『阿弥陀経』についての発表・議論) | 予習：ノートを振り返り整理する(30分) 復習：授業を振り返る(30分) | | | |
| 14. | これまでの学習内容の振り返り(『阿弥陀経』についての発表・議論) | 予習：ノートを振り返り整理する(30分) 復習：授業を振り返る(30分) | | | |
| 15. | これまでの学習内容の振り返り(『阿弥陀経』についての発表・議論) | 予習：ノートを振り返り整理する(30分) 復習：授業を振り返る(30分) | | | |
| 教科書 | 『真宗聖典』、『真宗聖教全書一』、『岩波仏教辞典』、『新漢語林』、『古語林』 | | | | |
| 参考書 | | | | | |
| 学修成果の評価方法 | 毎回の振り返り(40%)、授業内発表・議論(60%) | | | | |
| 特記すべき事項 | 授業内でClassroomを使います。事務室でiPadを借りるか、自分のスマートフォンを用意してください。 | | | | |
| 質問・相談等の受付 | 授業後、研究室、九州大谷Online等、いずれの方法も可。 | | | | |

| | | | | | |
|-----------|---|--|-----------------|--|--|
| 科 目 | 現代社会と福祉 | 開講時期 履修方法 | 2年前期 選択、専門科目 | | |
| 担当者 | 中島 航 | 授業形態 単位数 | 演習 1単位 | | |
| 授業概要 | 現在の日本における社会福祉の基本と地域課題について学ぶ。また、人と接する仕事に就く上で、最低限必要と思われる相談援助技術についても学ぶ。さらには、看取りの現場であるホスピスにおいての研修も実施する。本授業は仏教学科の学修成果(6)に対応する。 | | | | |
| 到達目標 | 現在の社会福祉の概要と地域にどのような福祉課題があるのかを知り、地域の人々と共に生きる一人として、考える力と行動できる力を身につけることができる。 | | | | |
| 学修成果の評価基準 | 授業態度と、学期末におけるレポート課題で評価する。 | | | | |
| | 授 業 計 画 (授 業 内 容) | | | | |
| | 授業時間外学習 予習・復習 | | | | |
| 1. | オリエンテーション。シラバスを読む。 | 予習：「シラバス」を読む(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分) | | | |
| 2. | 社会福祉とはなにかを学ぶ。 | 予習：社会福祉について配付資料を読む(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分) | | | |
| 3. | 現代の日本社会について(人口構造やその課題について)。 | 予習：配付資料を読む(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分) | | | |
| 4. | 様々な社会制度について、その概要を学ぶ。 | 予習：配付資料を読む(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分) | | | |
| 5. | 高齢者福祉の基本を学ぶ。 | 予習：配付資料を読む(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分) | | | |
| 6. | 障がい者福祉の基本を学ぶ。 | 予習：配付資料を読む(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分) | | | |
| 7. | 児童福祉の基本を学ぶ。 | 予習：配付資料を読む(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分) | | | |
| 8. | 母子・父子・寡婦福祉について学ぶ。 | 予習：配付資料を読む(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分) | | | |
| 9. | 生活保護について学ぶ。 | 予習：配付資料を読む(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分) | | | |
| 10. | ソーシャルワークとは何か学ぶ。 | 予習：配付資料を読む(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分) | | | |
| 11. | 相談援助の基本姿勢と考え方について学ぶ。 | 予習：配付資料を読む(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分) | | | |
| 12. | 相談援助に必要なコミュニケーション技術の基本について学ぶ。 | 予習：配付資料を読む(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分) | | | |
| 13. | 看取りの施設について学ぶ。 | 予習：配付資料を読む(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分) | | | |
| 14. | ホスピス現場研修 | 予習：研修先の施設について学んでおく(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分) | | | |
| 15. | ホスピス現場研修 | 予習：研修先の施設について学んでおく(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分) | | | |
| 教科書 | 随時、資料を配付する。 | | | | |
| 参考書 | 授業内で紹介する。 | | | | |
| 学修成果の評価方法 | 授業態度(グループワーク・発表含む)(40%)、レポート試験(60%) | | | | |
| 特記すべき事項 | | | | | |
| 質問・相談等の受付 | 教員に直接質問。Gmailで質問も受け付ける。 | | | | |

| | | | | | |
|-----------|--|---|------------------|--|--|
| 科 目 | 真宗と社会 | 開講時期 履修方法 | 2年前期 選択、専門科目 | | |
| 担当者 | 木屋行深・小田朋隆 | 授業形態 単位数 | 講義 2単位 | | |
| 授業概要 | 歴史的社会的存在である宗教（真宗）および宗教施設（寺院）について、背景となる歴史を認識するとともに、その今日的意義と課題を学ぶ。 本授業は仏教学科の学修成果(6)に対応する。 | | | | |
| 到達目標 | 自身の背景となっている教団の歩みを認識することを通して、人として、また僧侶としての姿勢を確かめることができる。 | | | | |
| 学修成果の評価基準 | 浄土真宗と寺院の歴史的な成り立ち、背景、およびその今日的課題に関する認識度を評価基準とする。 | | | | |
| | 授業計画（授業内容） | | 授業時間外学習 予習・復習 | | |
| 1. | 概説1 - 教団史を学ぶ必然性 | 予習：宗派の基本構造をおさえる（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間） | | | |
| 2. | 概説2 - 教団史を学ぶ際の留意点 | 予習：寺院、僧侶の基本をおさえる（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間） | | | |
| 3. | 大谷廟堂のなりたち | 予習：本願寺の源流について調べる（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間） | | | |
| 4. | 廟堂から本願寺へ | 予習：墓所の寺院化について調べる（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間） | | | |
| 5. | 蓮如上人の生涯と教え1 | 予習：室町期の本願寺と周辺状況を調べる（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間） | | | |
| 6. | 蓮如上人の生涯と教え2 | 予習：蓮如上人の事績を調べる（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間） | | | |
| 7. | 本願寺の東西分派 | 予習：戦国期の本願寺の周辺状況を調べる（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間） | | | |
| 8. | 明治大正期の東本願寺 - 両堂再建の軌跡 | 予習：明治期の本願寺の周辺状況を調べる（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間） | | | |
| 9. | ジェンダー事前学習 | 予習：配布資料を読む（2時間） 復習：授業内容を振り返る（2時間） | | | |
| 10. | ジェンダー講義 ゲストスピーカー：草野龍子先生 | 予習：配布資料を読む（2時間） 復習：授業内容を振り返る（2時間） | | | |
| 11. | ジェンダー事後学習 | 予習：配布資料を読む（2時間） 復習：授業内容を振り返る（2時間） | | | |
| 12. | 教誨師事前学習 | 予習：配布資料を読む（2時間） 復習：授業内容を振り返る（2時間） | | | |
| 13. | 教誨師講義 ゲストスピーカー：古賀祐法先生 | 予習：配布資料を読む（2時間） 復習：授業内容を振り返る（2時間） | | | |
| 14. | 教誨師事後学習 | 予習：配布資料を読む（2時間） 復習：授業内容を振り返る（2時間） | | | |
| 15. | まとめ | 予習：配布資料を読む（2時間） 復習：授業内容を振り返る（2時間） | | | |
| 教科書 | 『真宗聖典』、『教団の歩み』 | | | | |
| 参考書 | 『本願寺の軌跡』、『親鸞聖人の娘 覚信尼と真宗本廟』、『教如上人と東本願寺創立』、『本廟物語』 | | | | |
| 学修成果の評価方法 | 受講態度（50%）、定期試験（50%） | | | | |
| 特記すべき事項 | アンケート、小テストまたはレポート提出あり。 担当者の実務経験（小田）：真宗大谷派宗務役員、教学研究所所員、宗教法人代表役員 | | | | |
| 質問・相談等の受付 | 小田：メール対応可（アドレスは授業時に提示する） | | | | |

| | | | | | |
|-----------|---|--|-----------------|--|--|
| 科 目 | 宗教法規 | 開講時期 履修方法 | 2年後期 選択、専門科目 | | |
| 担当者 | 小田朋隆 | 授業形態 単位数 | 講義 2単位 | | |
| 授業概要 | 宗教法人法、単位法人規則および真宗大谷派宗憲等の基本を学び、現代における仏教、教団および寺院の存在意義を考察する。 本授業は仏教学科の学修成果(6)に対応する。 | | | | |
| 到達目標 | 国法（憲法や宗教法人法）と宗法（宗憲や諸条例）と仏法（仏教）の相互関係を課題的に受けとめ、かつそれらと自己自身との関係について認識を深めることができる。 | | | | |
| 学修成果の評価基準 | 法の成り立ちと作用に関する認識度を評価基準とする。 | | | | |
| | 授 業 計 画 (授 業 内 容) | | | | |
| | 授業時間外学習 予習・復習 | | | | |
| 1 . | 当科目の全容の概説、アンケート | 予習：授業概要および授業計画を把握する（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間） | | | |
| 2 . | 基本法規の概説 1 | 予習：授業計画の全体像をおさえる（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間） | | | |
| 3 . | 基本法規の概説 2 | 予習：各法規の役割をおさえる（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間） | | | |
| 4 . | 法制の背景としての教団史 1 | 予習：歴史を学ぶ意味をおさえる（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間） | | | |
| 5 . | 法制の背景としての教団史 2 | 予習：法制の変化をおさえる（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間） | | | |
| 6 . | 法制の背景としての教団史 3 | 予習：教団の構造をおさえる（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間） | | | |
| 7 . | 同朋会運動と教団問題 1 | 予習：信仰運動の動機をおさえる（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間） | | | |
| 8 . | 同朋会運動と教団問題 2 | 予習：普遍的問題の所在を確かめる（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間） | | | |
| 9 . | 真宗大谷派宗憲の意義 | 予習：宗憲の具体性を考察する（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間） | | | |
| 10 . | 宗教法人法の意義 | 予習：宗教法人法の具体性を考察する（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間） | | | |
| 11 . | 寺院規則、真宗大谷派規則の意義 | 予習：法人規則の具体性を考察する（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間） | | | |
| 12 . | 教団論 1 | 予習：教団の存在意義を考察する（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間） | | | |
| 13 . | 教団論 2 | 予習：現代における共同体の意義を考察する（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間） | | | |
| 14 . | 教学と教化（法の作用と誤用） | 予習：宗教活動の本旨を考察する（2時間） 復習：講義を振り返る（2時間） | | | |
| 15 . | 仏教学としての「宗教法規」 | 予習：宗教法制の全体像を確認する（2時間） 復習：各法令の意義を把握する（2時間） | | | |
| 教科書 | 『真宗大谷派宗憲 宗教法人法』、『教団の歩み』、『真宗聖典』 | | | | |
| 参考書 | | | | | |
| 学修成果の評価方法 | 受講態度（50%）、定期試験（50%） | | | | |
| 特記すべき事項 | 担当者の実務経験：真宗大谷派宗務役員、教学研究所所員、宗教法人代表役員（現職） | | | | |
| 質問・相談等の受付 | メール対応可（アドレスは授業時に提示する） | | | | |

| | | | | | |
|-----------|---|--|------------------|--|--|
| 科 目 | 声明作法 | 開講時期 履修方法 | 2年前期 選択、専門科目 | | |
| 担当者 | 渡邊弘宣 | 授業形態 単位数 | 演習 1単位 | | |
| 授業概要 | <p>「声明作法」では、真宗大谷派の儀式執行の行儀の習得を目的とする。 聖教を繰り返し唱和しながら、「勤行作法」「莊嚴作法」「裝束作法」の基本を学ぶ。 主に「伽陀 仏說阿彌陀經 和讃 音木」など、大谷派の年忌法要を中心に僧侶としての生活実践に重きを置く。 本授業は仏教学科の学修成果(2)に対応する。</p> | | | | |
| 到達目標 | <p>聖教の言葉を大事にしつつ、教えを唱和していることの大切さを感じることができる。 正確に読むことができる。</p> | | | | |
| 学修成果の評価基準 | <p>到達目標に明示している「言葉を大事にする」「教えを唱和する」「正確に読む」の到達度を測るために、到達度確認のテストを実施評価する。</p> | | | | |
| | 授業計画(授業内容) | | 授業時間外学習 予習・復習 | | |
| 1. | 自己紹介 声明概説 正信偈「真行草」草四句目下と真四句目下の復習 | 予習：声明集に目を通す(30分) 復習：教材確認、講義の復習(30分) | | | |
| 2. | 声明概説 正信偈「真行草」草四句目下と真四句目下の復習 念佛讃「淘三と淘五」の復習 | 予習：声明集に目を通す(30分) 復習：教材確認、講義の復習(30分) | | | |
| 3. | 声明概説 正信偈「真行草」草四句目下と真四句目下の復習 念佛讃「淘三と淘五」の復習 | 予習：声明集に目を通す(30分) 復習：教材確認、講義の復習(30分) | | | |
| 4. | 大谷派の法要について 御経「浄土三部経」について | 予習：声明集に目を通す(30分) 復習：教材確認、講義の復習(30分) | | | |
| 5. | 三経伽陀「先請弥陀」を中心として 御経を読む「仏說阿彌陀経」と中心として | 予習：声明集に目を通す(30分) 復習：教材確認、講義の復習(30分) | | | |
| 6. | 三経伽陀「先請弥陀」を中心として 御経を読む「仏說阿彌陀経」と中心として | 予習：声明集に目を通す(30分) 復習：教材確認、講義の復習(30分) | | | |
| 7. | 三経伽陀「先請弥陀」を中心として 御経を読む「仏說阿彌陀経」と中心として | 予習：声明集に目を通す(30分) 復習：教材確認、講義の復習(30分) | | | |
| 8. | 御経を読む「仏說阿彌陀経」を中心として | 予習：声明集に目を通す(30分) 復習：教材確認、講義の復習(30分) | | | |
| 9. | 御経を読む「仏說阿彌陀経」と中心として | 予習：声明集に目を通す(30分) 復習：教材確認、講義の復習(30分) | | | |
| 10. | 御経を読む「仏說阿彌陀経」と中心として | 予習：声明集に目を通す(30分) 復習：教材確認、講義の復習(30分) | | | |
| 11. | 御経を読む「仏說阿彌陀経」と中心として 三帖和讃(懸和讃を中心)に | 予習：声明集に目を通す(30分) 復習：教材確認、講義の復習(30分) | | | |
| 12. | 三経伽陀「先請弥陀」を中心として 御経を読む「仏說阿彌陀経」と中心として 三帖和讃(懸和讃を中心)「音木について」 | 予習：声明集に目を通す(30分) 復習：教材確認、講義の復習(30分) | | | |
| 13. | 三経伽陀「先請弥陀」を中心として 御経を読む「仏說阿彌陀経」と中心として 三帖和讃(懸和讃を中心)「音木について」 | 予習：声明集に目を通す(30分) 復習：教材確認、講義の復習(30分) | | | |
| 14. | 正信偈「真行草」草四句目下を中心として 「同朋奉讃」「御文」 | 予習：声明集に目を通す(30分) 復習：教材確認、講義の復習(30分) | | | |
| 15. | 三経伽陀「先請弥陀」を中心として 御経を読む「仏說阿彌陀経」と中心として 三帖和讃(懸和讃を中心)「音木について」 | 予習：声明集に目を通す(30分) 復習：教材確認、講義の復習(30分) | | | |
| 教科書 | 『大谷派声明集』、『御文稽古本』、『真宗の儀式』、『昭和法要式』 | | | | |
| 参考書 | | | | | |
| 学修成果の評価方法 | 受講態度(20%)、達成度(20%)、定期試験(60%) | | | | |
| 特記すべき事項 | | | | | |
| 質問・相談等の受付 | | | | | |

| | | | | | |
|-----------|--|--|------------------|--|--|
| 科 目 | 声明作法 | 開講時期 履修方法 | 2年後期 選択、専門科目 | | |
| 担当者 | 渡邊弘宣 | 授業形態 単位数 | 演習 1単位 | | |
| 授業概要 | <p>「声明作法」では、真宗大谷派の儀式執行の行儀の習得を目的とする。聖教を繰り返し唱和しながら、「勤行作法」「莊嚴作法」「装束作法」の基本を学ぶ。主に通夜勤行・葬儀式など、真宗の葬儀式を中心に僧侶としての生活実践に重きを置く。また、遺族の気持ち(グリーフ)に配慮した儀式執行についても学ぶ。本授業は仏教学科の学修成果(2)に対応する。</p> | | | | |
| 到達目標 | <p>聖教の言葉を大事にしつつ、教えを唱和していることの大切さを感じることができる。 正確に読むことができる。</p> | | | | |
| 学修成果の評価基準 | <p>到達目標に明示している「言葉を大事にする」「教えを唱和する」「正確に読む」の到達度を測るために、到達度確認のテストを実施評価する。</p> | | | | |
| | 授業計画(授業内容) | | 授業時間外学習 予習・復習 | | |
| 1. | 前期の復習 声明概説「真宗の葬儀式について」 | 予習：声明集に目を通す(30分) 復習：教材確認、講義の復習(30分) | | | |
| 2. | 前期の復習 声明概説「真宗の葬儀式について」 | 予習：声明集に目を通す(30分) 復習：教材確認、講義の復習(30分) | | | |
| 3. | 通夜・葬儀について 正信偈「墨譜を中心として」 | 予習：声明集に目を通す(30分) 復習：教材確認、講義の復習(30分) | | | |
| 4. | 通夜・葬儀について 正信偈「墨譜を中心として」 | 予習：声明集に目を通す(30分) 復習：教材確認、講義の復習(30分) | | | |
| 5. | 通夜・葬儀について 「各種偈文について」(勧衆偈を中心に) | 予習：声明集に目を通す(30分) 復習：教材確認、講義の復習(30分) | | | |
| 6. | 通夜・葬儀について 路念佛を中心として | 予習：声明集に目を通す(30分) 復習：教材確認、講義の復習(30分) | | | |
| 7. | 通夜・葬儀について 正信偈「墨譜を中心として」 念佛讚淘三 三帖和讚「葬儀式和讚」を中心として | 予習：声明集に目を通す(30分) 復習：教材確認、講義の復習(30分) | | | |
| 8. | 通夜・葬儀について 正信偈「墨譜を中心として」 念佛讚淘三 三帖和讚「葬儀式和讚」を中心として | 予習：声明集に目を通す(30分) 復習：教材確認、講義の復習(30分) | | | |
| 9. | 通夜・葬儀について 正信偈「墨譜を中心として」 念佛讚淘三 三帖和讚「葬儀式和讚」を中心として | 予習：声明集に目を通す(30分) 復習：教材確認、講義の復習(30分) | | | |
| 10. | 報恩講について 正信偈「真行草」真四句目下を中心として 念佛讚淘五 三帖和讚「報恩講の和讚」を中心として | 予習：声明集に目を通す(30分) 復習：教材確認、講義の復習(30分) | | | |
| 11. | 通夜・葬儀について 念佛讚淘三 三帖和讚「葬儀式和讚」を中心として | 予習：声明集に目を通す(30分) 復習：教材確認、講義の復習(30分) | | | |
| 12. | 通夜・葬儀について 念佛讚淘三 三帖和讚「葬儀式和讚」を中心として | 予習：声明集に目を通す(30分) 復習：教材確認、講義の復習(30分) | | | |
| 13. | 通夜・葬儀式について 伽陀「先請弥陀」を中心に 念佛讚淘三 三帖和讚「葬儀式和讚」を中心として | 予習：声明集に目を通す(30分) 復習：教材確認、講義の復習(30分) | | | |
| 14. | 通夜・葬儀式について 「装束作法」 | 予習：声明集に目を通す(30分) 復習：教材確認、講義の復習(30分) | | | |
| 15. | 通夜・葬儀式について 復習 | 予習：声明集に目を通す(30分) 復習：教材確認、講義の復習(30分) | | | |
| 教科書 | 『大谷派声明集』、『御文稽古本』、『真宗の儀式』、『葬儀中陰勤行集』 | | | | |
| 参考書 | | | | | |
| 学修成果の評価方法 | 受講態度(20%)、達成度(20%)、定期試験(60%) | | | | |
| 特記すべき事項 | | | | | |
| 質問・相談等の受付 | | | | | |

| | | | | | |
|-----------|---|--|-----------------|--|--|
| 科 目 | 教化学演習 | 開講時期 履修方法 | 2年前期 必修、専門科目 | | |
| 担当者 | 中島 航 | 授業形態 単位数 | 演習 1単位 | | |
| 授業概要 | 1、2年生合同で、「夏の法要」に向けた企画・学習・準備などを行い、計画に基づいて実施する。共同して一つの法要に取り組んでいくことを通して、現場に応ずる学びを深めていく。 本授業は仏教学科の学修成果(8)に対応する。 | | | | |
| 到達目標 | 法要の概要や目的を理解することができる。 協働して法要を勤めることができる。 | | | | |
| 学修成果の評価基準 | '法要概要や目的を理解することができる'の達成度を測るために、到達度確認テスト（期末レポート）を実施し評価する。 授業での積極的なグループ活動（法要の企画、学習、準備など）を「受講態度」の評価とし、「協働して法要を勤めることができるようになる」の達成度を測る。 | | | | |
| | 授業計画（授業内容） | | | | |
| | | | | | |
| 1. | ガイダンス 概要の確認と係の決定 | 授業時間外学習 予習・復習 | | | |
| 2. | 事前準備 法要の企画を行う（1） | 予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分） | | | |
| 3. | 事前準備 法要の企画を行う（2） | 予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分） | | | |
| 4. | 事前準備 法要の学習を考える（1） | 予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分） | | | |
| 5. | 事前準備 法要の学習を考える（2） | 予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分） | | | |
| 6. | 事前準備 勤行の練習をする（1） | 予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分） | | | |
| 7. | 事前準備 勤行の練習をする（2） | 予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分） | | | |
| 8. | 事前準備 勤行の練習をする（3） | 予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分） | | | |
| 9. | 事前準備 法要の準備を行う（1） | 予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分） | | | |
| 10. | 事前準備 法要の準備を行う（2） | 予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分） | | | |
| 11. | 事前準備 法要の準備を行う（3） | 予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分） | | | |
| 12. | 事前準備 法要のリハーサルを行う | 予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分） | | | |
| 13. | 夏の法要 讃歌（真宗宗歌、回向、恩徳讃）、勤行（「正信偈」草四句目下、念佛讃 三淘）、学習発表、講話など | 予習：夏の法要の要項をもとに準備を行う（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分） | | | |
| 14. | 夏の法要 讃歌（真宗宗歌、回向、恩徳讃）、勤行（「正信偈」草四句目下、念佛讃 三淘）、学習発表、講話など | 予習：夏の法要の要項をもとに準備を行う（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分） | | | |
| 15. | 事後総括 法要を総括する | 予習：夏の法要を振り返る（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分） | | | |
| 教科書 | なし | | | | |
| 参考書 | 適宜、資料を配布する | | | | |
| 学修成果の評価方法 | 受講態度（70%）、その他【期末レポート】（30%） | | | | |
| 特記すべき事項 | | | | | |
| 質問・相談等の受付 | 授業前後に、授業場所あるいは学修支援室にて受け付ける。また、電話、メール等でも受け付ける。 | | | | |

| | | | | | |
|-----------|---|--|-----------------|--|--|
| 科 目 | 教化学演習 | 開講時期 履修方法 | 2年後期 必修、専門科目 | | |
| 担当者 | 中島 航 | 授業形態 単位数 | 演習 1単位 | | |
| 授業概要 | 1、2年生合同で、仏教学科報恩講（冬の法要）に向けた企画・学習・準備などを行い、計画に基づいて実施する。事前準備・法要を通して、1年間あるいは2年間の学びを総括する。本授業は仏教学科の学修成果(8)に対応する。 | | | | |
| 到達目標 | 法要の概要や目的を理解することができる。 協働して法要を勤めることができる。 | | | | |
| 学修成果の評価基準 | '法要概要や目的を理解することができる'の達成度を測るために、到達度確認テスト（期末レポート）を実施し評価する。授業での積極的なグループ活動（法要の企画、学習、準備など）を「受講態度」の評価とし、「協働して法要を勤めることができるようになる」の達成度を測る。 | | | | |
| | 授業計画（授業内容） | | | | |
| | | | | | |
| 1. | ガイダンス 概要の確認と係の決定 | 授業時間外学習 予習・復習 | | | |
| 2. | 事前準備 法要の企画を行う（1） | 予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分） | | | |
| 3. | 事前準備 法要の企画を行う（2） | 予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分） | | | |
| 4. | 事前準備 法要の学習を考える（1） | 予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分） | | | |
| 5. | 事前準備 法要の学習を考える（2） | 予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分） | | | |
| 6. | 事前準備 勤行の練習をする（1） | 予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分） | | | |
| 7. | 事前準備 勤行の練習をする（2） | 予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分） | | | |
| 8. | 事前準備 勤行の練習をする（3） | 予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分） | | | |
| 9. | 事前準備 法要の準備を行う（1） | 予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分） | | | |
| 10. | 事前準備 法要の準備を行う（2） | 予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分） | | | |
| 11. | 事前準備 法要の準備を行う（3） | 予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分） | | | |
| 12. | 事前準備 法要のリハーサルを行う | 予習：係ごとの話し合い（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分） | | | |
| 13. | 仏教学科報恩講（冬の法要） 讃歌（真宗宗歌、回向、恩徳讃）、勤行（「正信偈」真四句目下、念佛讃 五淘）、 学習発表、法話など | 予習：冬の法要の要項をもとに準備を行う（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分） | | | |
| 14. | 仏教学科報恩講（冬の法要） 讃歌（真宗宗歌、回向、恩徳讃）、勤行（「正信偈」真四句目下、念佛讃 五淘）、 学習発表、法話など | 予習：冬の法要の要項をもとに準備を行う（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分） | | | |
| 15. | 事後総括 法要を総括する | 予習：冬の法要を振り返る（30分） 復習：授業の内容を振り返る（30分） | | | |
| 教科書 | なし | | | | |
| 参考書 | 適宜、資料を配布する | | | | |
| 学修成果の評価方法 | 受講態度（70%）、その他【期末レポート】（30%） | | | | |
| 特記すべき事項 | | | | | |
| 質問・相談等の受付 | 授業前後に、授業場所あるいは学修支援室にて受け付ける。また、電話、メール等でも受け付ける。 | | | | |

| | | | | |
|-----------|---|--|--------------|--|
| 科 目 | 法話基礎演習 | | 開講時期 履修方法 | 2年前期 選択、専門科目 |
| 担当者 | 中島 航・青木 玲 | | 授業形態 単位数 | 演習 1単位 |
| 授業概要 | <p>法話とは、私たちに語りかけてくるお聖教の言葉（法語）について、自分の体験を通して他人にも分かる言葉で話すことである。 前期は、法話とは何なのか、どのような内容なのか、そして、法話の目的は何なのかを考え、アクティブラーニングを実施する。 本授業は仏教学科の学修成果(5)に対応する。</p> | | | |
| 到達目標 | <p>法話とは何かを知り、原稿を考えて法話を行うことができる。日々の学びを法話として表現することができる。 法話の聞き手、さらには普段、僧侶として接する前の人の気持ちを理解し、考える力を身につけることができる。</p> | | | |
| 学修成果の評価基準 | <p>授業の事前準備や小レポートの提出、授業中やグループワークにおける積極的な参加をもって「授業態度」の評価とする。 また学期末に行う法話実習の原稿作成についても評価する。</p> | | | |
| | 授業計画(授業内容) | | | 授業時間外学習 予習・復習 |
| 1. | ガイダンス 授業概要のオリエンテーション | | | 予習：法話とは何か考えてみる（30分） 復習：授業の振り返り（30分） |
| 2. | 法話とは何かを学ぶ 「教化とは」 :青木 玲 | | | 予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分） |
| 3. | 法話とは何かを学ぶ 「自信教人信とは」 :青木 玲 | | | 予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分） |
| 4. | 法話について考える座談（グループワーク） | | | 予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分） |
| 5. | 法話を聞く 1- ビデオ学習 | | | 予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分） |
| 6. | 法話を聞く 1- ビデオ学習後の座談 | | | 予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分） |
| 7. | 法話原稿作成 前期の法話題材「白骨の御文」を学ぶ：青木 玲 | | | 予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分） |
| 8. | 法話を聞く 2- 学外に法話を聞きに行く（鸞音忌法要：光善寺） | | | 予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分） |
| 9. | 法話を聞く 2- 学外に法話を聞きに行く（鸞音忌法要：光善寺） | | | 予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分） |
| 10. | 法話原稿作成に関するオリエンテーション | | | 予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分） |
| 11. | 法話原稿作成 法話実習の原稿を考える | | | 予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分） |
| 12. | 法話原稿作成 法話実習の原稿を考える | | | 予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分） |
| 13. | 法話実習のリハーサル リハーサルをする :青木 玲 | | | 予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分） |
| 14. | 法話実習 学内で法話を実施する :青木 玲 | | | 予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分） |
| 15. | 法話実習の振り返り 法話実習を振り返る座談：青木 玲 | | | 予習：法話について考えておく（30分） 復習：授業の振り返り（30分） |
| 教科書 | 『真宗聖典』および隨時、資料を配付する。 | | | |
| 参考書 | | | | |
| 学修成果の評価方法 | 授業態度（課題に対する取り組み姿勢など）（70%）、学期末法話実習の原稿作成（30%） | | | |
| 特記すべき事項 | | | | |
| 質問・相談等の受付 | 随时、受け付ける。 | | | |

| | | | |
|-----------|---|---------------------|--|
| 科 目 | 法話基礎演習 | 開講時期 履修方法 | 2年後期 選択、専門科目 |
| 担当者 | 中島 航・青木 玲 | 授業形態 単位数 | 演習 1単位 |
| 授業概要 | 法話とは、私たちに語りかけてくるお聖教の言葉（法語）について、自分の体験を通して他人にも分かる言葉で話すことである。後期の学びは、2回ある法話実習への準備が中心となる。近隣寺院での法話実習や、「冬の法要」での法話など、より実践的なアクティブラーニングを実施する。本授業は仏教学科の学修成果(5)に対応する。 | | |
| 到達目標 | 法話とは何かを知り、原稿を考えて法話を行うことができる。日々の学びを法話として表現することができる。「目の前の人に向き合う上で大切なことは何か」ということを考えて、人と関わる力を身につけることができる。 | | |
| 学修成果の評価基準 | 授業の事前準備や小レポートの提出、授業中やグループワークにおける積極的な参加をもって「授業態度」の評価とする。また寺院法話実習（近隣寺院で法話実施）の準備、法話原稿作成と原稿の提出についても評価する。 | | |
| | 授業計画（授業内容） | | |
| | | | |
| 1. | 法話基礎実習 の振り返り | | 授業時間外学習 予習・復習 予習：前期を振り返る（30分） 復習：授業の振り返り（30分） |
| 2. | 後期の法話作成についてのオリエンテーション | | |
| 3. | 法話を聞く ビデオ学習 | | 予習：法話について考える（30分） 復習：授業の振り返り（30分） |
| 4. | 「寺院法話実習」法話原稿作成 | 原稿作成にあたってのオリエンテーション | |
| 5. | 「寺院法話実習」法話原稿作成 | | 予習：法話について考える（30分） 復習：授業の振り返り（30分） |
| 6. | 「寺院法話実習」法話原稿作成 | | |
| 7. | 法話の発声、立ち振る舞いを学ぶ | 表現学科の教員より学ぶ：日下部 信 | 予習：法話について考える（30分） 復習：授業の振り返り（30分） |
| 8. | 「寺院法話実習」リハーサル | ：青木 玲 | |
| 9. | 「寺院法話実習」 | 近隣の寺院で法話を実施する：青木 玲 | 予習：法話について考える（30分） 復習：授業の振り返り（30分） |
| 10. | 「寺院法話実習」 | 近隣の寺院で法話を実施する：青木 玲 | |
| 11. | 「寺院法話実習」の振り返り | ：青木 玲 | 予習：法話について考える（30分） 復習：授業の振り返り（30分） |
| 12. | 「冬の法要」法話原稿作成 | 原稿作成にあたってのオリエンテーション | |
| 13. | 「冬の法要」法話原稿作成 | ：青木 玲 | 予習：法話について考える（30分） 復習：授業の振り返り（30分） |
| 14. | 法話の発声、立ち振る舞いを学ぶ | 表現学科の教員より学ぶ：日下部 信 | |
| 15. | 「冬の法要」法話リハーサル | ：青木 玲 | 予習：法話について考える（30分） 復習：授業の振り返り（30分） |
| 教科書 | 『真宗聖典』 | | |
| 参考書 | | | |
| 学修成果の評価方法 | 授業態度（40%）、寺院法話実習への準備（30%）、「仏教学科報恩講」での法話準備（30%） | | |
| 特記すべき事項 | 「冬の法要」当日は、当授業ではなく「教化学実習」の出席とする。 | | |
| 質問・相談等の受付 | 随时受け付ける。 | | |

| | | | |
|-----------|---|--------------|-----------------|
| 科 目 | 課題研究 | 開講時期 履修方法 | 2年前期 選択、専門科目 |
| 担当者 | 青木 玲 | 授業形態 単位数 | 演習 1単位 |
| 授業概要 | 卒業論文の提出に向けて、自らの課題を明確にする。前期は、卒業論文の中間発表を目標に、授業の中で発表を行う。本授業は仏教学科の学修成果(5)に対応する。 | | |
| 到達目標 | 自らの課題を明確にし、7月に卒業論文の中間発表を行うことができる。 | | |
| 学修成果の評価基準 | 授業内での発表を「授業内発表」の評価とする。 | | |
| | 授業計画(授業内容) | | |
| | 授業概要 | | |
| 1. | 授業概要 | | |
| 2. | レジュメの作り方 | | |
| 3. | 発表・質疑応答 | | |
| 4. | 発表・質疑応答 | | |
| 5. | 発表・質疑応答 | | |
| 6. | 発表・質疑応答 | | |
| 7. | 発表・質疑応答 | | |
| 8. | 発表・質疑応答 | | |
| 9. | 発表・質疑応答 | | |
| 10. | 発表・質疑応答 | | |
| 11. | 発表・質疑応答 | | |
| 12. | 発表・質疑応答 | | |
| 13. | 発表・質疑応答 | | |
| 14. | 卒業論文中間発表 | | |
| 15. | 卒業論文中間発表 | | |
| 教科書 | 『真宗聖典』 | | |
| 参考書 | | | |
| 学修成果の評価方法 | 受講態度(50%)、授業内発表(50%) | | |
| 特記すべき事項 | | | |
| 質問・相談等の受付 | | | |

| | | | | | |
|-----------|---|--|-----------------|--|--|
| 科 目 | 課題研究 | 開講時期 履修方法 | 2年後期 選択、専門科目 | | |
| 担当者 | 青木 玲・中島 航 | 授業形態 単位数 | 演習 1単位 | | |
| 授業概要 | 卒業論文の内容を明確にすることを目標に発表を行う。 本授業は仏教学科の学修成果(5)に対応する。 | | | | |
| 到達目標 | 11月に卒業論文の発表を行い、1月には卒業論文を提出することができる。 | | | | |
| 学修成果の評価基準 | 授業内での発表を「授業内発表」の評価とする。 | | | | |
| | 授業計画(授業内容) | | | | |
| | 授業時間外学習 予習・復習 | | | | |
| 1. | 授業概要 | 予習：発表の準備をする(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 2. | 発表・質疑応答 | 予習：発表の準備をする(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 3. | 発表・質疑応答 | 予習：発表の準備をする(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 4. | 発表・質疑応答 | 予習：発表の準備をする(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 5. | 発表・質疑応答 | 予習：発表の準備をする(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 6. | 発表・質疑応答 | 予習：発表の準備をする(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 7. | 発表・質疑応答 | 予習：発表の準備をする(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 8. | 発表・質疑応答 | 予習：発表の準備をする(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 9. | 発表・質疑応答 | 予習：発表の準備をする(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 10. | 発表・質疑応答 | 予習：発表の準備をする(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 11. | 発表・質疑応答 | 予習：発表の準備をする(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 12. | 発表・質疑応答 | 予習：発表の準備をする(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 13. | 発表・質疑応答 | 予習：発表の準備をする(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 14. | 卒業論文発表 | 予習：発表の準備をする(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 15. | 卒業論文発表 | 予習：発表の準備をする(30分) 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する(30分) | | | |
| 教科書 | 『真宗聖典』 | | | | |
| 参考書 | | | | | |
| 学修成果の評価方法 | 受講態度(50%)、授業内発表(50%) | | | | |
| 特記すべき事項 | | | | | |
| 質問・相談等の受付 | | | | | |

| | | | | | |
|-----------|---|--|-------------------|--|--|
| 科 目 | 卒業論文 | 開講時期 履修方法 | 2年後期集中 必修、専門科目 | | |
| 担当者 | 吉元信暁 | 授業形態 単位数 | 演習 1単位 | | |
| 授業概要 | 学びの集大成として、各自の研究課題に基づく学習成果を論文の形で発表する。中間発表（7月）、卒論発表（11月）を行い、個別に教員と相談しつつ進めていく。本授業は仏教学科の学習成果(5)に主に対応する。また学修成果(1)(3)(4)にも対応する。 | | | | |
| 到達目標 | 自分自身の仏教の受け止めを論述することができる。 | | | | |
| 学修成果の評価基準 | 論文の内容と口頭試問によって、読解力、思考力、表現力、コミュニケーション能力の達成度を確認し評価する。 | | | | |
| | 授業計画(授業内容) | | 授業時間外学習 予習・復習 | | |
| 1. | 卒業論文提出 | 予習：提出の準備をする（30分） 復習：内容を振り返り、疑問点を確認する（30分） | | | |
| 2. | 卒業論文提出 | 予習：提出の準備をする（30分） 復習：内容を振り返り、疑問点を確認する（30分） | | | |
| 3. | 卒業論文提出 | 予習：提出の準備をする（30分） 復習：内容を振り返り、疑問点を確認する（30分） | | | |
| 4. | 卒業論文提出 | 予習：提出の準備をする（30分） 復習：内容を振り返り、疑問点を確認する（30分） | | | |
| 5. | 卒業論文提出 | 予習：提出の準備をする（30分） 復習：内容を振り返り、疑問点を確認する（30分） | | | |
| 6. | 卒業論文提出 | 予習：提出の準備をする（30分） 復習：内容を振り返り、疑問点を確認する（30分） | | | |
| 7. | 卒業論文提出 | 予習：提出の準備をする（30分） 復習：内容を振り返り、疑問点を確認する（30分） | | | |
| 8. | 卒業論文提出 | 予習：提出の準備をする（30分） 復習：内容を振り返り、疑問点を確認する（30分） | | | |
| 9. | 卒業論文提出 | 予習：提出の準備をする（30分） 復習：内容を振り返り、疑問点を確認する（30分） | | | |
| 10. | 卒業論文提出 | 予習：提出の準備をする（30分） 復習：内容を振り返り、疑問点を確認する（30分） | | | |
| 11. | 卒業論文提出 | 予習：提出の準備をする（30分） 復習：内容を振り返り、疑問点を確認する（30分） | | | |
| 12. | 卒業論文提出 | 予習：提出の準備をする（30分） 復習：内容を振り返り、疑問点を確認する（30分） | | | |
| 13. | 卒業論文提出 | 予習：提出の準備をする（30分） 復習：内容を振り返り、疑問点を確認する（30分） | | | |
| 14. | 卒業論文提出 | 予習：提出の準備をする（30分） 復習：内容を振り返り、疑問点を確認する（30分） | | | |
| 15. | 卒業論文提出 | 予習：提出の準備をする（30分） 復習：内容を振り返り、疑問点を確認する（30分） | | | |
| 教科書 | 『真宗聖典』 | | | | |
| 参考書 | | | | | |
| 学修成果の評価方法 | 読解力(25%)、思考力(25%)、表現力(25%)、コミュニケーション力(25%) | | | | |
| 特記すべき事項 | | | | | |
| 質問・相談等の受付 | 課題研究の授業、その他隨時受け付ける。 | | | | |